

# いわむろ

コミュニティだより

岩室地域コミュニティ協議会  
2023年1月1日発行  
〒953-0132 西蒲区西中 860  
tel 0256-72-8840 <コミ協事務所>  
tel 0256-72-8814 <岩室出張所>  
fax 0256-82-4484 <岩室地区公民館>  
E-mail:iwamuro.comikyo@kind.ocn.ne.jp



宮島 キイ(西中)  
昭和2年生まれ

元気で頑張ります。



宝輪 睦雄(間瀬)  
昭和14年生まれ

まだまだ現役！



本田 正人(和納)  
昭和26年生まれ

今年は休肝日を増やします。



安達 真砂子(和納)  
昭和38年生まれ

新しいスタート頑張ります。



澤田 裕美(原)  
昭和50年生まれ

健康第一！



山岸 慎太郎(夏井)  
昭和62年生まれ

家族がみんな健康で。



阿部 流星(高畑)  
平成11年生まれ

農業で頑張ります。



鈴木 天惶(久保田)  
平成23年生まれ 6年生

サッカーで全国大会にいきたい！

# 新年のご挨拶



岩室地域コミュニティ協議会  
会長 田中 弘信

新年あけましておめでとうございます。

コロナ禍3年目となった昨年は、地域の皆様のご理解もあり、徐々にはありますが、各種活動も本来の姿を取り戻すことができました。ありがとうございます。

さて、小中学校では「総合的な学習」の中で「ふるさと岩室」の魅力を再発見する学習に取り組んでいます。当協議会では、地域と学校との新たな関わり方を模索していく中で、世代間の交流を促進しながら、これらの取り組みを支援していきます。

春の矢川の灯籠流しでは、小中学校の児童、生徒の皆さんが、自然の豊かさや、季節の美しさ、地域の伝統を誇らしげに俳句に詠み上げています。

岩室駅前のイルミネーションでは、和納小学校の皆さんが「みらいにむかってがんばれいわむろ」と、地域の皆さんにエールを送っています。

コミュニティ協議会では、子供たちがいつまでも故郷を愛し続けられる「美しい岩室」を、地域の皆さんと一緒につくり上げていきたいと思えます。

今年も皆様のご支援ご協力を宜しくお願います。

## イルミネーションと防犯運動

◆点灯時間 17時～0時30まで  
◆点灯期間 2月26日(日)まで

令和4年11月26日(土)岩室駅前ロータリー広場においてイルミネーション点灯式が行なわれました。「明るく元気なまちにしたい」と、「三協、地域住民、和納小学校が力を合わせたイルミネーションが地域を明るく照らしています。」

期間中には防犯や火の用心に心がけてほしいと、地域の子どもたちが拍子木を鳴らして「夜回り」を行っています。

鈴木西蒲区長の歌声が響きました



11/12(土)

## 和納小学校で防災訓練(カエルキャラバン)が行われました。

岩室三協・自治会・防災士・浦原ガス株式会社いわむろ案内人

ファミリー参観日に併せ、全校児童、保護者の参加で開催しました。楽しく学べるゲーム形式の防災訓練では、身の回りの物でできる災害の対応を体験してもらい備えの大切さを学びました。18年前には新潟県中越地震が発生しました。この教訓を忘れないように地域と学校がひとつになって日頃から防災訓練を通して意識を高めて行きたいと思えます。なお、地域の防災訓練として継続して行くことを目標に、運営スタッフは地域から募り、防災体験プログラムのノウハウを学ぶための事前研修会を開催して行いました。地域の多くの皆さんのご協力で開催することができたことに感謝いたします。





# 校舎の変遷から見る和納小学校

校長 坂井 隆一

今年度、創立一五〇周年を迎えた和納小学校の校舎はどんな変遷をたどったのでしょうか。

(参考文献：和納小学校百年史)

## 一、寺と家の時代（明治六年～十年）



今から一五〇年前の明治六年、新潟県第二中学区第二番小学公立和納校として、願善寺で学校が始まりました。その後、場所が伊藤徳太郎さんの家、中原栄三さんの家へと移りました。

## 二、初校舎時代（明治十一年～昭和二年）



明治十一年、初めての校舎ができました。（もと農協ガソリンスタンドの辺り）その後、全校児童数が増えたため、明治三十六年に校舎が広くなりました。校歌ができたのもこの頃です。

## 三、旧校舎時代（昭和三年～平成二年）



昭和三年、旧校舎ができました。（現農村環境改善センター）同時にできた校舎が掲げてある校舎からは木造のあたたかみが伝わります。つらい戦争を乗り越え、平和な世の中へと歩んだ時代です。

## 四、新校舎時代（平成三年～）



平成三年、現在の新校舎が完成しました。（わなみホールは後に増設）急速な社会の変化の中、地域のシンボルとして愛され、現在に至ります。素直で温かい子どもが育っています。なお、一五〇年の歴史の概要をまとめたものが、和納小学校ホームページにリンクされているのでご覧ください。



明治四拾五年三月 和納尋常高等小学校第拾六回卒業記念撮影(写真裏に記載)

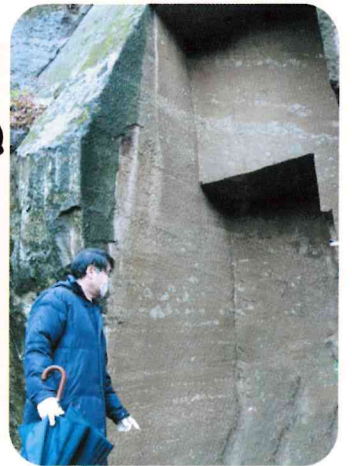
- 明治6年(1873) 願善寺において和納小学校誕生(寺子屋)。「新潟県第二中学区第二番小学公立和納校」
- 明治10年(1877) 願善寺から伊藤徳太郎さん、中原栄三さん宅に移転(現和納自治会館)
- 明治11年(1878) 新校舎が完成し移転。(現和納自治会館)
- 明治20年(1887) 学校名が「尋常科和納小学校」となる。
- 明治22年(1889) 学校名が「和納村立和納小学校」となる。
- 明治40年(1907) 学校名が「和納村立和納尋常高等小学校」となる。
- 昭和3年(1928) 新校舎が完成。(現改善センター)
- 昭和16年(1941) 学校名が「和納国民学校」となる。
- 昭和20年(1945) 終戦
- 昭和22年(1947) 学校名が「和納村立和納小学校」となる。
- 昭和35年(1960) 学校名が「岩室村立和納小学校」となる。
- 平成3年(1991) 現在の和納小学校に移転となる。
- 平成17年(2005) 学校名が「新潟市立和納小学校」となる。

12/2  
(金)

中原 八一新潟市長が行く

## 西蒲の魅力発信!

“海底火山が生んだ鉱物の産地 間瀬石切場を訪ねて”



新型コロナウイルスをきっかけに、身近な地域の魅力を楽しむ「マイクロツーリズム」が注目を集めています。当日は中原新潟市長をご案内して岩室の魅力にふれていただきました。300年前に岩室温泉が始まったという「源泉公園」や岩室温泉一押しの「黒湯」にふれ、かつての芸妓置屋であった現「無匠庵」では炭火が赤々と燃えて迎えてくれました。その後岩室温泉を後にして間瀬石切場に向かいました。明治から昭和初期にかけて間瀬石を切り出した跡で、間瀬の主要産業となった場所です。明治2年開港5港の一つであった新潟港旧税関跡の石庫に、この間瀬石が使われたことでも知られています。

## 春一番！岩室温泉ひな巡りで地域を元気に！



- と き 2月23日(木・祝)～3月12日(日)  
10:00～16:00
- と ころ 岩室温泉の旅館・ホテル・商店・慶覚寺・無匠庵  
(旧芸妓置屋)・いわむろや等
- 催 し スタンプラリー
- 駐 車 場 いわむろや・岩室温泉市営駐車場  
小富士屋第2駐車場(公会堂前)
- 問 合 せ 観光施設いわむろや ☎0256-82-1066 (担当:高橋)  
◎詳しくは後日の案内チラシをご覧ください。

## ■ 編集後記 広報部会

あけましておめでとうございます。  
表紙では笑顔で写真に応じていただいた皆さんに元気をもらい新しい年を迎えました。  
さて、今年和納小学校創立150年を迎えます。折しも明治初期からの当時の卒業写真が数枚公民館の倉庫から出てきました。明治の人たちから届いたメッセージ?かもしれません。今年もよろしくお祈りします。

## 弥彦玉兔の由来



その昔、弥彦山に住んでいた兔たちが、毎日里に降りて田畑を荒らしていたそうです。困った里人が弥彦大臣神様に相談すると、神様は兔たちを集めて田畑を荒らさないように諭したそうです。兔たちは丸くなってかしこまり、二度といたずらをしないと誓いました。それ以来被害がなくなったので感謝した里人は、兔がかしこまって丸くなった姿を米の粉で作って神様に捧げ、たいそう喜ばれたそうです。

このお菓子は後に「玉兔(たまうさぎ)」と名付けられ、現代まで語り継がれています。弥彦駅の屋根瓦にもうさぎがいます。

◎問合せ…岩室地域コミュニティ協議会 ☎0256-72-8840 (岩室出張所 ☎0256-72-8814)